

平成29年度「所有者不明猫適正管理推進事業」実施地域に対するアンケート結果

○ 平成28年度不妊去勢手術実績

手術実施匹数	性別内訳	
	オス	メス
477	219	258

○ 事業に対する意識調査結果（事業を実施した地域住民の方を対象にアンケート調査を実施）

- ・実施方法：平成28年度に事業を実施した地域住民にアンケート調査票（別紙）を配付・回収。
（平成27年度からの継続実施地域分を含む）
- ・調査期間：平成29年11月～平成30年1月
- ・回答地域：29（うち平成27年度からの継続実施地域は6地域）
- ・有効回答者数：422名

問1 事業を実施したことによる地域の変化について

	減った・少し減った	変わらない	増えた・少し増えた	無回答
ふん尿の被害	351 (83.2%)	56 (13.3%)	6 (1.4%)	9 (2.1%)
なき声の被害	352 (83.4%)	49 (11.6%)	3 (0.7%)	18 (4.3%)
車・花壇の被害	333 (78.9%)	57 (13.5%)	6 (1.4%)	26 (6.2%)
住民苦情	326 (77.3%)	67 (15.9%)	6 (1.4%)	23 (5.5%)
野良猫の数	345 (81.8%)	54 (12.8%)	9 (2.1%)	14 (3.3%)
地域の コミュニケーション	とりにやすくなった	変わらない	とりにくくなった	無回答
	177 (41.9%)	211 (50.0%)	17 (4.0%)	17 (4.0%)
地域の生活環境	良くなった・少し良くなった	変わらない	悪くなった・少し悪くなった	無回答
	290 (68.7%)	114 (27.0%)	5 (1.2%)	13 (3.1%)

問2 事業に対する主な意見及び感想〔自由記述〕（一部抜粋）

A 好意的な意見（98件）

- ・以前は当方の敷地内で野良猫にエサを与える人がいて困っていましたが、しっかり管理していただきその被害も無くなりました。
- ・街ねこたちが仲良く暮らしているようで、厳しい環境の中でも幸せにいるように思います。
- ・猫が減って被害もほとんど聞かない様になった。
- ・地域住民の苦情も減り、猫環境も改善されつつあります。
- ・糞尿の場所が一定している。
- ・糞尿被害がなくなり良かった
- ・鳴き声が減った
- ・地域でコミュニケーションがとれて良かった。猫の数が減って良かった。

- ・今はほとんど猫がいなくなり尿の匂いがなくなりました。
- ・お互いに理解し合える様になり、エサやりさんとのトラブルが減った。
- ・野良猫に花壇を荒らされたりする人は少なくなって喜んで居られます。
- ・気味悪く鳴く猫の声やトタンを転がるような嫌な音が無くなったので気分が良い。
- ・猫の糞尿の臭いは異常に強く床下に入り込んで来る被害に悩まされていたが、床下の鳴き声と共に無くなり助かっている。
- ・コミュニケーション作りにも役に立っている。
- ・野良猫の数、特に子猫をみかけることが少なくなった。
- ・猫の声がうるさかったが、静かになった。
- ・野良猫の糞尿が減り、大変助かっている。
- ・子猫が少なくなり、野良猫も減って環境が良くなった。
- ・子猫が減ったことにより又猫の数が少なくなったことで近隣との関係がよくなりました。
- ・以前は猫による生ゴミ・残飯あさりで迷惑していましたが、最近あまり見かけなくなりました

B 否定的な意見 (23 件)

- ・あいかわらず無責任にえさやりをする人がいるのは残念。
- ・地域全体でしないと一部の町会だけでは減らない。区全体で取り組まない限り減らないと思う。
- ・自宅の敷地内の決まった場所に野良猫が糞尿をするので困っていますが、一度習慣がついてしまうとどうにもならないようです。
- ・公園で猫の糞が多い。
- ・大阪市のこの事業は、ノミ・ダニの駆除を徹底せず捕獲区域についても制限がある。
- ・特定の人に負担がかかりすぎている。
- ・猫は走り回っています。
- ・糞尿・花壇の傷つけはどうにかならぬのでしょうか。
- ・よかったことは1つもありません。猫公害で困ります。
- ・お世話をしている人が大変である。
- ・無責任なエサやりの方がいるみたいで、ゴミ片付けの苦情が時々聞こえてきます。
- ・事業の前後の変化が分からず効果は不明です。

C その他意見 (31 件)

- ・事業の予算を増やしてほしい。
- ・もっと啓発してほしい。
- ・殺処分されない様に譲渡会を多く開催してほしい。
- ・活動の状況をもっと広めてほしい。
- ・地域住民の意識改革が必要である。
- ・不妊去勢手術費用を市が全額助成する制度を作れば認知度もあがり殺処分減少につながると思う。
- ・地域猫のフン尿鳴き声など嫌いな人もいるので地域に理解してもらい、猫の管理を行政と地域が協力していくことが必要。
- ・費用負担が下がることを希望。
- ・手術していただく動物病院を明確にしていく方がよい。
- ・もう少し広い範囲で取り組む事が必要かと思えます。